

日本医歯薬専門学校 平成 29 年度 学校関係者評価委員会 議事録

作成者: 矢野 裕

己

日 時	平成 30 年 6 月 7 日(木) 10:00 ~ 12:00
場 所	日本医歯薬専門学校 203 教室
参 加 者	<p>●学校関係者評価委員会 委員 =敬称略=</p> <p><保護者代表> 井上 史恵 (歯科衛生士学科 I 部 2 年生 井上夏帆 母)</p> <p><高等学校代表> 及川 勉(昭和第一学園 理事)</p> <p><地域代表> 糟谷 一(杉並区町会連合会、高円寺中央地区町会連合会、高南二丁目町会)</p> <p><卒業生代表> 加瀬 保奈美(歯科衛生士学科 II 部 卒業生)</p> <p><業界代表> 飯島 裕之(杉並区歯科医師会)</p> <p><業界代表> 富田 基子(東京都歯科衛生士会)</p> <p>●学校法人東京滋慶学園 関係職員</p> <p><理事長> 中村 道雄</p> <p><学校長> 須田 英明</p> <p><教育顧問> 近藤 健示</p> <p><副校長> 山崎 彰(事務局長兼務)</p> <p><教務部長> 富田 恒雄</p> <p><キャリアセンター長> 豊島 義人</p> <p><学生サービスセンター長> 保科 英俊</p> <p><広報センター長> 奥田 直子</p> <p><教務部 歯科衛生士学科> 矢野 裕己</p>
議 題	進行:山崎
1. はじめに (須田学校長)	<p>梅雨間の蒸し暑くなりますなか、午前中からお忙しい中、会議にご出席いただきありがとうございます。</p> <p>井上委員、飯島委員は、初めての出席となりますが、毎年本校の学校教育に対する評価を行っていただいております。重ねて御礼を申し上げます。</p> <p>昨今の専門学校教育は、企業、業界との連携が大変重視されております。本校は学生に対して、最新で実践的な教育を行うべく組織的な取り組みが行われているということで、職業実践専門課程の認定校となっております。この認定は基本的には学校単位ではなく学科・コース単位で認定されますが、学校単位でいきますと 2800 校あまり専門学校がありますが、認定を受けている学校は三分の一程度、とりわけ医療系の認定率は 3 割に満たないのが現状であります。この学校関係者評価委員会は、その認定の基本的な要素のひとつとなっています。あらためて評価作業に御礼申し上げます。本日の作業についてですが、私どもの方から学校の教育状況をご報告申し上げますので、それに対してご忌憚ないご意見を積極的にいただければ大変幸いです。学校といましては、みなさまのご意見を運営・教育に反映させていただきますので、どうか積極的なご発言をお願いいたします。</p>
2. 学園組織担当者紹介 (山崎)	各紹介
3. 学校関係者評価委員 ご紹介(山崎)	各代表者様ご紹介
4. 平成 29 年度 事業報告(山崎)	<p>【資料『平成 29 年度日本医歯薬専門学校 事業報告資料』参照】</p> <p>・【教育】 中途退学率 3.8% 歯科衛生士国家試験 99.2%、視能訓練士国家試験 94.1%</p> <p>・【就職】 離職率 5.5%。就職率は 100%だったが、就職者率に課題が残る結果だった</p> <p>・【広報】 社会人広報には課題が残る結果だった</p> <p>・平成 29 年度実績(目標)と総括</p> <p>広報…達成 / 教育…達成 / 就職…達成</p>

5. 平成 29 年度

自己点検・自己評価
(山崎・富田・豊島・
保科・奥田・矢野)

【資料『平成 29 年度日本医歯薬専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料』参照】

(会議内でのご説明は会議資料の内容とさせていただきます、委員の皆様には、質疑応答をいただくと共に、ご意見・評価をご提出いただく)

- ・1. 教育理念・目的・育成人材像(1-1-1・1-1-2・1-1-3・1-1-4)
- ・2. 学校運営(2-2・2-3・2-4・2-5・2-6・2-7)
- ・3. 教育活動(3-8-1・3-8-2・3-9-1・3-9-2・3-9-3・3-9-4・3-10・3-11・3-12-1・3-12-2・3-12-3)
- ・4. 教育成果(4-13・4-14・4-15)
- ・5. 学生支援(5-16・5-17・5-18・5-19-1・5-19-2・5-19-3・5-19-4・5-20・5-21)
- ・6. 教育環境(6-22・6-23・6-24)
- ・7. 学生の募集と受け入れ((7-25・7-26・7-27)
- ・8. 財務(8-28-1・8-28-2・8-29・8-30・8-31)
- ・9. 法令等の遵守(9-32・9-33・9-34-1・9-34-2・9-34-3・9-34-4・9-35)
- ・10. 社会貢献(10-36-1・10-36-2・10-37)

6. 質疑応答(山崎)

(粕谷様) 特に社会貢献に関して。

高円寺には四大祭りがあり、2 月に演芸まつりもあるが、高円寺の4つの祭りのうち、3つの催しにボランティアに参加していただき大変ありがたいと思います。
孤立したかたちで学校が存在しているのではなく、地域の中に溶け込んでいるのでは
は
違うと思います。

●中国と台湾からの留学生は、どのくらいの日本語能力があるか、どのような経緯があるのか

→(富田)入学選考の中に、日本語能力検定 1 級、面接の中で確認している。

入学後も留学生センターのスタッフに来校してもらい、文化の違いがあるため、生活

習慣等を含めて指導を行っている。

少子化になり、留学生の受入を行って、国際的にも貢献する。東南アジア等の学生の
の
受入を行い、今後、労働人口の補充になってくれることもありうるし、母国に帰国して
か
らも貢献できる。

2018 年 10 月に、語学研修をする学校として高円寺国際学園が開校する。

海外からの留学生を受け入れるため、スタッフも外国人がいるため、語学力のサポート
も
できるため、何か必要な情報があれば提供できると思う。

(飯島様) ●将来的に同窓会を実施、同窓生が運営をするにあたり、郵送費がかかるため、その
学年で窓口になる卒業生のメールアドレスを教えてください、そこから発信できるような
ことを構築していけると良いのではないかと

●転校・転科ができることは素晴らしいことであるため、学生募集と同様、うたっていつ
たら

学生募集にも繋がるのではないかと

●健康管理については、慶生会クリニックに全員が行くのは難しいと思いますので、地
域と

しては、杉並区医師会にフォローをお願いしてもよいのではないかと

●学校設備

席の後ろの学生は、プロジェクターが見にくい教室があるので、配慮してあげてほしい

耐震もあるが、配慮していただくとありがたい

●学生募集

オープンキャンパス時に、歯科医院を開放し、高校生が参加した経緯がある。臨場感が出て、入学前から学習への期待が高まるのではないかと思うので、活用してはどうか。

●社会貢献

9月9日 杉並区民講座を実施する。(セッション杉並)

演者は、歯科医療保健センター医長、服部栄養専門学校の服部先生の予定。健康講座を実施するため、そちらに宣伝を兼ねて参加してはどうか。

(糟谷様) どのくらいの対象に、どのように告知しているのか

⇒(飯島様) 区民は無料。案内はどのような媒体を使ってというのは難しいが、区の広報誌、杉並歯科医師会会員のところには案内している。

(糟谷様) 各町会の掲示板が30~40くらいの掲示板があるので、情報配信ができるので、情報をまわしていただければ、町会の時に掲示依頼することができます。

セッションの地域運営協議会が2ヶ月に1度、“ふれあいセッション”というパンフレットを出しているため、行事案内の記事を掲載することはできると思います。

(及川様) ●視能訓練士学科が、定員充足できた、成功した秘訣・取り組みは何か

→(山崎) 広報が2年目。初年度よりは早い時期から広報に取り組めた元年でもあった。ただ、他の養成校と大きく違うのは、国家試験の実績、カリキュラムはかたちにはしているが実績がない中で、新しい学科だからこそ教職員の熱意、一人ひとりを大切に考える考えや行動を打ち出すことで、ニーズに伴った支持を得ることができた。

また、時代の変化に伴い人気の資格になりつつあるのも追い風になったのではない

かという自負はある。

●毎年素晴らしい取り組みを行っているようだが、反面、教職員の多忙化に繋がって

い

ないのか懸念、心配しているが大丈夫か。

→(山崎) ずっと本校、組織での課題ではあったが、ここ数年、学校としても勤怠システムを取り入れ、日ごと、週ごと、半月単位で、どのくらいの超過勤務があるのか、

か、

業務確認をチームとして行うことによって、誰かに偏っていないか、シェアできないか、確認することによって、過重労働を低減できるようになってきた。

【ポイントとして】 ※昨年度から実施

① 過重労働があるかないかをこまめに確認する

② 1人ではなく、チームとして、業務をどう割り振るか

●東京オリンピックに向けての取り組みは何かしているか

→(山崎) まだ具体的に何か計画は行えていないが、学校としてどのように関わっ

て

いけるか、どう関わるべきか、業界を通じて何か情報を得られるような働きかけ

を

しなければならぬと気づかされた

(学校長) 年次休暇は取れているか

→(山崎) 労働基準法の 36 条で取り交わしている、月 45 時間以上の超過勤務をしない、年間 360 時間を超過しないということは、平成 29 年度は守れている。
年次休暇は、就業規則上にある休暇は取れている。
有給休暇消化率も上げていこうとしている。
労働における内容は変わりつつある

(井上様) 娘を見ていると、生き生きとしており、歯科医院でのアルバイトを行い、両立している。
女性として一生社会に貢献してほしいと親としての願いだった。

学校選びは本人任せだったが、選んだ理由は、設備がきれい、スタッフの対応がよく
困

気がよい、とのことだったので、本人の希望で受験した。

今を大事にすれば、必ず自分の一生の仕事を得られるということを娘に話している。
パンフレットや成績表を送っていただいて、それを見て娘と話もできているためありがたいと思っています。

(学校長) SNSを使って卒業生と連絡をとっている学校もあるがメールアドレスの把握はできているか

⇒(豊島)在校生は、緊急配信メールのアドレスを残しているのを、把握している。
卒業生の情報も残しているため、それで連絡をしている。
アドレスの変更した場合には、再登録をしてもらっている。
届かない学生が、卒業から経年すると把握できにくくなっている。
住所に郵送物を送ると転居していて、郵送物が届かないことが多い。

(井上様) 学生から職員にアクセスできる方法はないのか

→(豊島)就職活動時には、キャリアセンターのアドレスを開示している。

就職活動に関してのみキャリアセンタースタッフのとの直接やりとりができるよう

に

なっている。歯科衛生士学科は、臨床実習に長く登院するため、就職相談、見学の

の

相談、求人情報についてのやり取りをしている。

(井上様) 娘たちの年代は、携帯でのやりとりができるのはありがたいです。

(学校長) 就業歯科衛生士数は“西高東低”といわれているが、杉並区内の歯科衛生士の就業状況、歯科衛生士不足はお感じになりますか？

→(飯島様) 就業歯科衛生士は少ないと感じます。

(富田様) 国家試験不合格者 1 名に対して、いろいろな取り組みをしていて素晴らしいと思った。
就職を決めない学生が多いのは、売り手市場のため安心して決めない学生がいるの

では

ないかと思われるため、歯科衛生士の仕事は素晴らしいということを伝えていきたいと感じた。

4 年前から歯科衛生士の掘り起こしを行っているが、講座(5 日間の講習を受講)に参加

加

した 7 割の歯科衛生士に復職している。

歯科衛生士を紹介してほしいと言われても、紹介ができないのが現状。

歯科医院の数と歯科衛生士の数は、ほぼ同数。

歯科衛生士がほしい歯科医院の先生は、歯科衛生士がいる歯科医院を参考にして

ほし

いと話している。

<p>医 よう</p>	<p>歯科衛生士が働きたいと思う歯科医院には複数の歯科衛生士がおり、そういう歯科医院は、歯科衛生士業務を行える、先輩がいる、キャリア形成ができる、歯科衛生士が2～3名いる歯科医院が選ばれている。どこの町の歯科医院にも歯科衛生士がいるように働きかけたい。</p> <p>オリンピックに関する情報は、まだオファーがない。状況がわかり次第、お知らせします。</p> <p>(学校長) 現場では若い年齢の学生のほうが採用されやすいのか。また、復職希望の方は、パート希望なのではないか。ただ、パートだとしてほしいときにいないということもあるため復職が難しいのが現状ではないか。</p> <p>(加瀬様) グループ内企業のクリニックに在学中に通院するのは遠いので、通院できない話しを同級生から聞いたことがある。自身も通院したことはない。近いところのほうがよいと思う。</p> <p>再就職支援のシステムでどのようなことを行っているか。</p> <p>→(豊島)卒業生一人ひとりの支援が必要になっている。</p> <p>同窓会、勉強会に参加した卒業生からの相談が多く、以前より増えてきた。取り扱う案件も以前より増えてきた。コンサルタントに相談することも可能なため、キャリアプランをどうしたいか相談することもできる。コンサルタントとアポイントを取って面談することもできるため、卒業生にも活用してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メールはあまり活用していないため、SNSを利用してもらえると、学校からの情報もタイムリーに得ることができると思う。 ●歯科助手の給与が上がっていて、DHになろうと思う人がいないのではないかとと思う。 <p>臨床現場にいると凄く感じる。</p> <p>1年以内に退職する歯科衛生士が多くいるため、5月病で退職するDHに対して、アプローチするDCもある様子。(合わない、精神的な理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校の求人票は、文字情報だけのため、どのような医院なのかが伝わらない。どのような成長をすることができるか、学生から歯科医院に聞けない・聞きにくい情報を載せたり、スタッフの声など、学校特有の求人票に情報を充実させたらどうか。
-----------------	---

<p>7. 事務連絡(山崎)</p>	<p>・評価シート記入・提出について、日当交通費について ・期限;6/22(金)までに、郵送または持参</p>
<p>8. おわりに (中村理事長)</p>	<p>お忙しい中、長時間に渡り、ありがとうございます。</p> <p>貴重なご意見をいただきありがとうございました。皆様からいただいたご意見をしっかり反映させていただきます。求人はたくさんいただいているが、学生募集に苦労しているのが現状で、4割の学校は定員割れしており、東京都歯科医師会立の学校は学生募集を止めようかという意見が出たようです。</p> <p>学校長の話にもありましたが、職業実践専門課程の専門学校は33%、医療系では28%とさらに少ない。なぜかという、学生が集まらない＝財務基盤が弱い、と思われ、さらに学生が集まらない、ということを書いて、なかなか申請できないところも多いみたいでございます。私どもの学校は、皆様のおかげで、職業実践専門課程の学校として、きちんと申請、インターネット公開できるというのは幸せなことだと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>